

「フィリピン残留日本人2世と語る会」

国と国、そして法律のはざままで苦しんでいる無国籍の"日本人"がいることを知っていますか？

戦争によってフィリピンに取り残された"日本人"の方々が、日本国籍取得を求めて来日します。

彼・彼女らの日本、親への思い、そして戦前・戦中・戦後の体験や暮らしについて話し合います。

戦後68年経った今でも解決されていないフィリピン残留日本人の問題について、一緒に考えてみませんか？

《フィリピン残留日本人問題とは？》

第2次世界大戦前、道路建設や農業開拓のためにフィリピンへ移住した日本人は約3万人と言われています。その多くは現地でフィリピン人女性と結婚し、平穏な生活を営んでいました。

しかし戦後、日本人は強制帰国を余儀なくされ、残ったフィリピン人妻や子どもは反日感情による差別や虐待を恐れ、婚姻証明書や出生証明書などの書類を破棄するなどして身元を隠し、生き延びてきました。反日感情が和らいだ今、日本人のアイデンティティーを回復するために日本国籍の取得を求めるものの、戦争により身元を証明する書類をほとんど紛失してしまっている者が多く、困難を極めています。



日時：2013年8月11日(日) 11:00~15:00

会場：JR四谷 主婦会館 プラザエフ 9階

参加費用：無料

食事の持ち寄り、寄付大歓迎です

参加申し込み

NPO法人フィリピン日系人リーガルサポートセンター(PNLSC)

電話：03-3355-8861 FAX:03-3355-8862

Email: info@pnlsc.com